



CORPORATE PROFILE



CORPORATE PROFILE CONTENTS

ステートメント	03
ごあいさつ	04
パーパス	05
B-EN-Gの強み	07
B-EN-Gのフィールド	08
B-EN-Gのソリューション	09
B-EN-Gのあゆみ	10
ブランドシンボルの想い	11

ステートメント

Statement

未来まで、よりそい抜く Business Engineering for Growth

世の中には、人々の幸せを願いながら
価値の創造に挑むづくり手がどれほどたくさんいることか。
ものづくりをITで支え続けてきた私たちB-EN-Gは、
誰よりもそれをよく理解しています。

私たちは、お客様自身にはなれません。
けれど、必死に前に進もうとするづくり手と
同じ目線で課題を分かち合い、同じ熱量で目標を目指す
ことならできる。そう信じています。

だから時に、耳に痛い意見をお伝えするかもしれません。
時に、ご依頼と異なる提案を差し上げることもあるでしょう。
お客様が求めるままではなく、お客様に本当に必要な答えを
提供することこそ、真のパートナーの使命だと思うからです。

“Business Engineering for Growth”
すべては「お客様にとっての成長」のために、
前でもなく後ろでもなく、そばによりそいながら
ゴールまでの道をともにする。私たちはB-EN-Gです。



私たちB-EN-Gは、お客様と
ともに進むべき道を切り拓きます。

ビジネスエンジニアリング株式会社は、日本初のERP導入支援プロジェクトを成功させて以来、製造業を中心とするお客様のデジタル化を支援してきました。

単にシステムを構築するだけでなく、共に課題を解決することで、お客様と継続的な関係を築かせていただいております。

また、ものづくりの業務ノウハウを集約した自社ライセンス製品「mcframe」シリーズは、お客様の課題や利用形態に応じた豊富な製品群を展開し、国内外2,000社超の企業様にご採用いただいています。これからも、IoTやAIの活用やDcX[※]の実現を通じて、グローバルでものづくりデジタライゼーションを一層加速していきます。

当社は今、ブランドステートメント「未来まで、よりそい抜く」、そしてパーパス「世の中に創造業を増やす」を掲げて事業を進めています。この2つの言葉は、B-EN-Gが社会における存在意義や、お客様に対する提供価値を改めて見つめ直して明文化した宣言です。変化する社会の中でいち早く課題を見つけ、多様な技術を組み合わせて新たな価値を生み出す企業を「創造業」と定義し、お客様やパートナー様たちと手を携えてまだ見ぬ価値の創造に挑んでいく。たとえそれが困難でも、最後までやり抜く私たちの信念を表しています。

これからもB-EN-Gは皆様とともに歩み、そばによりそいながら進むべき道を切り拓いていきます。ご期待ください。

取締役社長 羽田 雅一

DcX (Data Centric Transformation=データ起点の価値創出のためのビジネス変革) :
システム等に蓄積された膨大なデータを分析し、そこから示唆を得て新たな価値を創出すること

Purpose

世の中に 創造業を増やす

つくり手が創造的活動に専念できる仕組みを形にすること。

つくり手と手を携え、より大きな価値の創出に挑むこと。

世の中に「価値の創造業」を増やし、

ともに人々の幸せがあふれる社会を実現していく。

それが、ビジネスエンジニアリングです。

Strength

Field

Solution

B-EN-Gの強み

Strength

4つの力で、お客様の
業務改革と事業の発展に貢献します。

1 「ものづくり」に強い ソリューション力

B-EN-Gは、製造業向けERPシステム導入のパイオニアです。経営と現場の双方の視点を大切にし、調達から生産、物流、販売、サポートまでの「ものづくり」を多面的に理解することで、お客様のビジネス変革を実現してきました。

四半世紀に渡り培った、その豊富な知識、技術、ノウハウを活かし、最適なソリューションを提供。製造業の競争力向上を支援しています。

2 グローバル展開の 支援力

B-EN-Gの前身である東洋エンジニアリングから受け継いだ、グローバルに活動するプラントエンジニアリングのDNAと、海外プロジェクトのノウハウを活かし、お客様のグローバル展開を支援してまいりました。

現地法人の設立などサービス体制の整備を推し進め、現在では導入実績が世界25ヶ国以上に広がっています。

3 プロジェクト 遂行力

計画通りのプロジェクト遂行にはコミュニケーションが重要と考えます。お客様の課題はどこにあるのか、常にお客様の声に耳を傾け、変化する経営環境に即応していく。

そのために私たちは「決してあきらめない」マインドとともに、プロジェクトマネジメントのスキルや知識の向上に努め、プロジェクトを確実に遂行することを約束します。

4 ニーズに応える 開発力

他社製パッケージ製品を活用したシステムインテグレーションにとどまらず、製造業向けパッケージの「mcframe」を自社開発する技術力と開発力を持っています。

さらにそれらの技術を実際に適用可能なレベルに育てる商品化力と各種ソリューションを最適に組み合わせる設計力で、システム活用の新たな方向性を提案していきます。

「変化」を「チャンス」に。
最適な解でお客様の変革をサポートします。

SUPPLY CHAIN

ものづくりと世界市場をつなぎ、
競争力を強化。

グローバル化する製造業のサプライチェーンは、ますます複雑化しています。市場の急激な変化にグローバルの供給体制は対応できるのか。災害など不測の事態に直面してもビジネスを継続できるのか。そのためにB-EN-Gでは、変化に対して柔軟かつ迅速に対応できるサプライチェーンの構築を支援し、お客様の競争力強化に直結する取り組みを継続しています。



GLOBAL

海外拠点のERP導入、
グローバル経営管理を支援。

原材料の調達も製品の販売も海外に広がる中、日本の企業は従来よりもさらに踏み込んだグローバルな対応を求められています。B-EN-Gは、豊富な海外プロジェクト経験と、海外現地法人およびパートナー企業による強力なサービスネットワークを活かし、海外拠点でのERP導入やグローバル経営管理の実現などのグローバル展開支援を積極的に進めています。



DIGITALIZATION

「ものづくりデジタルイゼーション」
推進による競争力向上。

製造業においては、生産・販売・物流管理の効率化を始めとする「業務領域のデジタル化」に続き、企業価値を高めるための「競争領域のデジタル化」が次なる課題です。言語化が比較的容易だった分野から、経験により培われた勘や、体が覚えた動作といった「暗黙知」など、これまではデジタル化が容易でない情報に対象が変わります。B-EN-Gは、IoT等の新技術を活用した実践的ソリューションに取り組み、お客様の競争力向上をご支援します。



お客様のビジネス変革を
「広く」「深く」「素早く」推進

SOLUTIONS

幅広い業務領域と
新技術をカバーするソリューション

日本のERP市場をリードしてきたB-EN-Gでは、製薬、食品、化学、石油、機械、電機、電子などの製造業をはじめとして、商社、物流、情報、サービスまで、国内外を問わず豊富な導入実績があり、既に1,000社を超えるお客様にソリューションを提供してきました。

その対象業務領域は、ERPを中心としながら、SCM、MES、EPM、コラボレーションなどの分野に広がっています。また、クラウド、仮想現実、IoT、AIなどの先端テクノロジーをいち早く取り入れ、付加価値を生み出します。

PRODUCTS

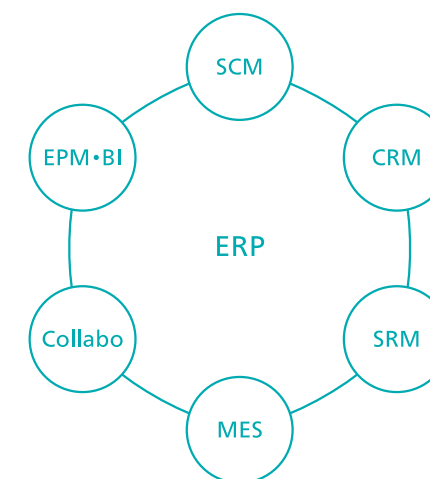
製造業の多様なニーズにお応えする
製品を提供

開業前の10年間と合わせた30年の経験で培った技術とノウハウを活かし、ソフトウェア製品の自社開発に力を注いでいます。

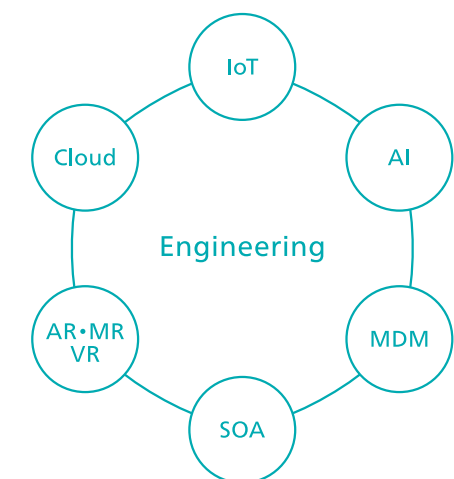
「mcframe」は日本の製造業向けに特化した業務パッケージです。生産管理機能を中心に、原価管理、経営管理、海外拠点向け会計機能、IoT対応、設計との連携などの機能を備え、これまでに1,500を超えるお客様にご採用いただいています。



Business Solutions



Technology



B-EN-Gのあゆみ

1987	東洋エンジニアリング(株)産業システム事業本部新設
1991	ERPビジネスを開始(日本初のSAPパートナー)
1993	国内第一号SAPユーザーへの導入を支援
1996	自社開発パッケージ「MCFrame」を提供開始
1999	東洋ビジネスエンジニアリング(株)開業
2001	JASDAQに上場
2003	東洋ビジネスシステムサービス(株)(現 ビジネスシステムサービス(株))設立 Ariba(現 SAP Ariba)の導入支援を開始
2004	上海駐在員事務所開設(現在は現地法人として営業)
2005	東京に本社を移転 FlexNet(現 DELMIA Apriso)の導入支援を開始
2007	海外拠点会計パッケージ「A.S.I.A.」(現 mcframe GA)を提供開始 タイ現地法人が営業開始
2009	「MCFrame XA」シリーズを提供開始
2010	中国に現地法人を設立
2013	東証二部に上場
2014	東証一部に上場 Informatica MDMの導入支援を開始
2015	インドネシア現地法人が営業を開始 シンガポール現地法人が営業を開始
2016	「mcframe IoTシリーズ」を提供開始
2017	「mcframe 7」を提供開始 米国に現地法人を設立
2019	社名を「ビジネスエンジニアリング株式会社」に変更

ビジネスエンジニアリング株式会社

本社
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-8-1
KDDI大手町ビル
Tel. 03-3510-1600 Fax. 03-3510-1624

関西支店
〒532-0011 大阪市淀川区西中島6-1-1
新大阪プライムタワー 4階
Tel. 06-6390-1205 Fax. 06-6390-1201

中部営業所
〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦3-4-6
桜通大津第一生命ビル12階
Tel. 052-951-1277 Fax. 052-951-1288

グループ会社
ビジネスシステムサービス株式会社(B-SERV)
Business Engineering America, Inc.
Toyo Business Engineering (Shanghai) Co., Ltd.
Toyo Business Engineering (Thailand) Co., Ltd.
PT. Toyo Business Engineering Indonesia
Toyo Business Engineering Singapore Pte. Ltd.

ブランドシンボルの想い



ビジネスエンジニアリングの頭文字である「B」の形状の中に、つながりを感じるフォルムを配しています。
連結した2つの円は、私たちがつくり手であるお客様・パートナー企業によりそう様子を表現。
また、複数の企業が互いに影響を与え合いながら新たなビジネスを創造し、無限に成長していく力「B-FORCE」の象徴でもあります。



B-EN-G